

県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

23年秋季年末闘争

仲間をふやしその力で 春闘を勝利しよう

ボーナスゼロなくせ！非正規差別NG！キャンペーンスタート

静岡県評は23年10月14日(土)に第2回常任幹事会と単産地域代表者会議を開催しました。静岡県評の今後1年間の重点課題の徹底を行い、あわせて全労連の秋季年末闘争「ボーナスゼロなくせ！非正規差別NG！キャンペーン」に取り組みながら、組織拡大に取り組みすることを決定しました。

連合所属のそごう・西武労組が会社譲渡を背景とするリストラに抗い、一日営業を止めるストライキに立ち上がりました。マスクミが「闘わない労組の転機」(日経新聞)「ストライキの力、労働組合の存在感示せ」(朝日新聞)とする記事を掲載するなど、労働組合やストライキへの期待が広がりに始めています。またヤマト運輸では日本郵政との「協業」により、配送ドライバー(3万人)とDM等の仕分け作業を行う直雇用の非正規雇用労働者(全国77カ所、1カ所に20人から50人)を来年1月末で一斉に「契約解除」「雇止め」しようとしています。

それに対し一部の労働者が立ち上がり、ヤマト運輸が、個人事業主と団体交渉に応じないのは労働者の権利を侵害する「不当労働行為」だとして、東京都労働委員会に救済を申し立てました。茨城では、直雇用の非正規雇用労働者18人が建交労軽貨物ユニオンヤマト運輸茨城班を結成しヤマト本社との団体交渉を行い、会社は計画を撤回し再配置提案なども行われています。

労働者の生活は、四半世紀におよぶ実質賃金低下の上に、歴史的な物価高騰によって、深刻な事態が続いています。23国民春闘において、20数年ぶりの高い賃上げ回答を引き出したとはいえ、物価高騰等を上回る賃上げとすることができていません。23春闘以降も、異常な物価高騰が続いていきます。8月の生活必需品(基礎的支出)の物



価は、22年8月から+3.4%、物価が上がり始めた20年8月からは+9.6%も上昇しています。とくに、食料品は20年8月から13%以上も上昇しており、4人家族の月当たりの負担増は14,525円にもなります。光熱費なども含む家計全体の月あたり負担増は4人家族では、20年8月よりも27,880円にもなります。他方で、大企業・投資家・富裕層の富は増大し続けています。財務省「法人企業統計調査」によれば、2023年1-3月期決算の資本金10億円以上の大企業の内部留保は約513兆円に上り、14年間で1.8倍増加しています。賃上げを抑制し、大幅なコスト減らしなどで利益を膨らませて内部留保を

積み増したことは明らかです。日本の企業は、コロナ禍のなかでも中小企業も含めて11%増以上の内部留保を積み増し、過去最高を更新しています。

組織拡大・強化を 最重点課題に

この秋、静岡県評では、全労連の提起を受け「ボーナスゼロなくせ！非正規差別NG！キャンペーン」に取り組みます。具体的には職場では、組合員だけでなく未組織の労働者の声を集め、すべての労働者に年末一時金を均等に支給するよう要求を提出し交渉を行います。また、地域では、非正規労働者などの未組織労働者に向けて「労働組合に

円にもなりません。他方で、大企業・投資家・富裕層の富は増大し続けています。財務省「法人企業統計調査」によれば、2023年1-3月期決算の資本金10億円以上の大企業の内部留保は約513兆円に上り、14年間で1.8倍増加しています。賃上げを抑制し、大幅なコスト減らしなどで利益を膨らませて内部留保を

要求を実現する強い労働組合を 目指して熱い議論で交流

ブロック組織拡大交流会

東海・北陸ブロック組織拡大交流会は10月21日から22日に愛知県蒲郡市で開催されました。ブロック7県から33名が参加しました。静岡県評から常任幹事など5名が参加しました。

真の「介護社会化」へ 静岡県民のつとめ

静岡市葵区で28日「人間らしい生活を！いのちを守る第8回静岡県民のつとめ」(オンライン併用)が行われ約60人が参加しました。実行委員会主催で、今年史上最大の悪の介護保険制度改悪の問題を取り上げ、学習と交流を行いました。

いさつで、岸田政権の国民の暮らしを無視した大軍拡・増税を批判「つとめを通じて命を守り、人間らしい生活、これを送ることができると社会にしていけるために、今何をすべきかみなさんと一緒に考えていきたい」と訴えました。

全日本民医連の林泰則事務局長が「介護に笑顔と希望を！」をテーマに記念講演し、介護報酬に2024年度改定をめぐ

る動き、現状の課題を解説されました。林氏は、介護保険制度について高齢化社会の中で財政上持続が不可能になり財政破綻が避けられないと指摘し、国庫負担割合の引き上げが求められていると訴えました。日本は高齢者と現役世代に対して社会保障の支出が諸外国と比較して低いことをあげ「真の『介護の社会化』実現のために請願署名を広げていきましょう」と

訴えました。

参加者から、県職員の時「介護保険」の仕事をしてきた。介護保険が発足して5年ほどたった時の国の研修で「入り口は広く、出口は狭く」と言われました。私の解釈では「介護保険」を広く普及するが、適用に当たっては厳密にするのかと思いました。当初から「保険あって介護なし」と言われた「介護保険」。今まさに、その通りだと感想が出されました。

両日で竹下武氏(全労連事務局次長)から「仲間を増やして要求を実現する



議報告を聞く静岡からの参加者

くらしと福祉の充実求め 静岡県担当者懇談実施

国民大運動実行委員会

軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を求め「国民大運動静岡県実行委員会」が11月2日、県担当者懇談を行いました。この実行委員会は、静岡県評、静岡県商連、原発をなくす会などが参加、当日の参加者は60名を超えました。

要望は41項目で、教育、ア新幹線の問題についても問題、平和問題、業者問題、積極的な交渉を行い、来年度予算編成に私たちの要望が反映できるように取り組みました。



県に要望書を提出する菊池議長

静岡県評は「公契約条例の下限の賃金設定」「人口減を防ぐ労働者の賃上げ中小零細業者の施策」「大雨など自然災害による河川の復旧対策」「リニア新幹線トンネル工事」「ジェンダー平等」「静岡県労働委員会労働者側委員の選任」の6項目の要望を出しました。リニア新幹線では、



県と交渉する参加者

国が進める「リニア中央新幹線静岡工区有識者会議（以下有識者会議）」が9月26日に提示した報告書の内容について県が11月1日に「意見書」を提出して、その内容について議論しました。県は有識者会議の報告書では①トンネル工事に伴う地下水水位変化による沢の水生物等への影響と対策②高標高部

の植生への影響と対策③地上部分の改変箇所における影響と対策についてそれぞれ不十分な箇所があると指摘しています。県は「トンネル湧水の全量戻し」の立場は変わらないとしており、私たちはこれまでの県の行動を高く評価し今後もおれたいと県の担当者へ伝えました。また、ジェンダー

「静岡年金裁判に勝利する会」第8回総会開催

静岡年金裁判に勝利する会と全日本年金者組合静岡県本部は、10月23日に第8回「静岡年金裁判に勝利する会」総会を開催。年金者組合員をはじめ参加団体合計30人が参加しました。第1部は最高裁判所への上告理由を西澤美和子原告団弁護士が講演。第2部で総会を行いました。

第1部は、開会挨拶を土屋芳久静岡年金裁判原告団副会長が行い、西澤美和子原告団弁護士が、最高裁判所へ提出した139頁の「上告理由書」を説明しました。この中で、西澤美和子弁護士は、「従前のルールを変更してまで年金の実額を引下げるという権利後退が本当に許容されるのか、仮に許容されるとしても、

平等に関する交渉では、静岡県のジェンダーギャップ指数が経済面で全国最下位であることを指摘。女性に対する暴力根絶の抜本的な対策、女性の管理職登用や男性の育児休暇取得推進などを求めました。交渉参加者からは「パートナーシップ宣言などの良い施策はもっと普及させてほしい」などの意見を述べました。

静岡アスベスト被害 110番開催
静岡アスベスト被害対策連絡会議は10月21日「静岡アスベスト被害110番」を行った。連絡会議はアスベスト弁護団、静岡民医連、静岡安全健康センターが2005年、クボタショックの際に結成し、以後22回のアスベスト110番を実施するなど静岡のアスベスト被害の調査、掘り起こし、被害者支援を行った。今回の「110番」では17名から相談があり「中皮腫」の患者さん「びまん性胸膜肥厚」の方、診断がまだついでいない方などの相談があり民医連の専門医による診断・治療の紹介、労災申請・アスベスト救済法での申請の相談、国の給付金等の紹介などを行った。3名の弁護士、民医連診療所のレントゲン技師が相談に応じ、4回線の臨時電話で対応した。最近では、相談者が少なかったが、今回は途切れることなく相談があった。相談者は地元地方紙を見たというところだった。記者会見し報道を依頼したところこの報道を見て電話したという方が多かった。今回はさらに独自のピラも作り、①かつて患

「笑顔で保育・介護・看護をしたい」 拡大リーフを活用しよう！

ケア労働者大幅賃上げプロジェクトで拡大リーフを作成しました。

ケア労働者の賃上げや大幅な増員は必須になっていきます。労働組合に入っているに賃上げや増員の実現をめざしましょう。ケア職場で働く皆さんからの労働相談も受け付けます。一枚でも多くのピラを未組織のケア労働者に届け、ケア労働者の劣悪な環境を改善させましょう。



報告する長澤氏

静岡県労働研究所N87
10月19日定例研究会が行われ「教員不足と臨時教職員問題」と題して長澤裕氏が報告しました。教員不足は深刻になっており、年度初めからの欠員スタートや産休の代替が来ない状況があります。若い女性教員の精神疾患や退職者が増えています。子どもや保護者にも不安が広がり、学級担任がいっまでも決まらなかつたり、何時間もプリント学習の授業が続いています。



報告する岡村原告団事務局長

最近では「先生足りない」がSNSトレンド1位になりました。臨時教職員の思いに添える取り組みや、青年教職員の怒りや悩みを運動に変える取り組みが必要です。

ケア労働者向け拡大リーフ
笑顔で保育・介護・看護をしたい
拡大リーフを活用しよう！
ケア労働者の賃上げや大幅な増員は必須になっていきます。労働組合に入っているに賃上げや増員の実現をめざしましょう。ケア職場で働く皆さんからの労働相談も受け付けます。一枚でも多くのピラを未組織のケア労働者に届け、ケア労働者の劣悪な環境を改善させましょう。

生活・法律相談

■ 労使トラブル・解雇・賃金不払い・セクハラ・パハラ・借金問題・教育問題など、受け付けます。
■ 労働弁護士の紹介もいたします。

○ 受付 国鉄労働会館静岡地方部
054 (285) 4426
○ 相談場所 静岡合同法律事務所
○ 相談員 阿部浩基弁護士

貸会議室

のご予約・お問い合わせは
一財) 国鉄労働会館静岡地方部へ
TEL 054 (285) 4426 FAX 054 (283) 6835

★ 静岡駅南口から徒歩1分
定員14名・30名(各1室)
少人数の打合わせ・会議・講習会におすすめです

自動車共済

思いがけない事故に強い味方

- 24時間事故受付
- 組合員の立場で示談交渉
- 他保険のノンフリート等級を引き上げます
- ロードサービス、弁護士費用特約あり
- 家計にやさしい掛金で補償充実
- 全労連共済の組合員なら団体割引(10%)が適用されます

⇒まずはお見積り！